

大分県のすがた

平成版

こどもの社会

～子育て満足度日本一を目指して～



目次

(1) はじめに	1
(2) 誕生	4
①幼いいのち	6
②母と子と	10
③父と子と	12
④兄と・姉と	14
(3) 成長	16
①地域での子育て	18
②幼児期の教育・保育	20
③小学校・中学校	22
④子どもの遊び	34
⑤暮らしの中で	36
(4) 活躍	40
①地域の中で	42
②スポーツ	44
③文化	50
資料	54

(1) はじめに

(1) はじめに

子どもは社会を映す鏡と言われる。

本書の前身である旧版「こどもの社会」が発行されて50年余り。その間、私たちの暮らしは大きく変わった。1964年には東京オリンピックが開催され、カラーテレビ、クーラー、自動車の「新・三種の神器」が普及した。大分でも、1963年に新産業都市の指定を受けて、鉄鋼、石油、化学などが相次いで進出。1971年には大分空港が開港した。

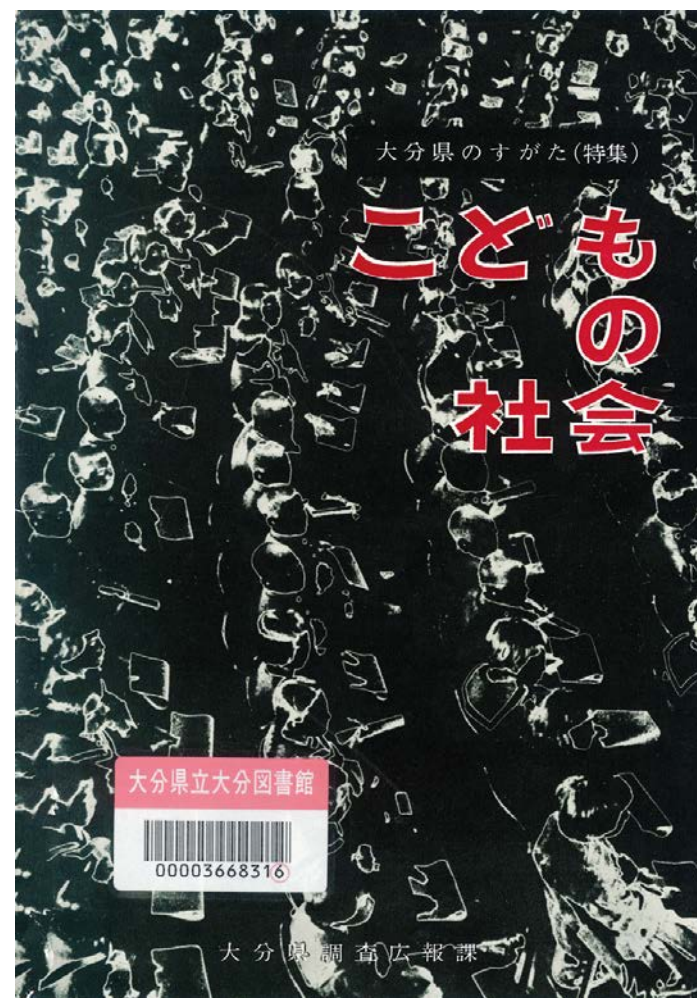
旧版と本書を見比べると、そうした生活の変化が如実に表れている。木製の机と椅子で勉強していた子どもたちは、タブレットを使って勉強するようになった。アルミの食器はプラスチックに取って代わった。チャンバラごっこがパソコンでの遊びになった。

だが一方で変わらないものもある。それは子どもたちの目だ。子どもたちが私たちに向けているまっすぐなまなざし。50年経っても全く変わらないその純粹さ、ひたむきさは、子どもたちの持つ未来を切り拓く力を、改めて私たちに教えてくれる。

社会が変化するスピードは速くなり、将来はますます見通しにくくなっている。今から50年後はどのような時代になっているだろうか。そのとき、本書の子どもたちはどこで何をしているだろうか。生まれてくる子どもたちの目は輝いているだろうか。

私たちは、これからも「子育て満足度日本一」の実現に向けて取り組んでいく。未来を切り拓く子どもたちの力を信じて。

大分県知事 広瀬 勝貞



旧版「こどもの社会」昭和35年（1960年）3月発行

各章の中で旧版「こどもの社会」と対比して掲載しています。昭和から平成への時代の移り変わりとともに、子どもたちを取り巻く環境や様子の変遷を比較してご覧ください。

(2) 誕生



弟誕生 おかあさんに「おねえちゃん」と呼ばれて なんだか変だった

(旧版「こどもの社会」より)

- ① 幼いいのち
- ② 母と子と
- ③ 父と子と
- ④ 兄と・姉と

①幼いいのち



みつめるひとみに 自我の芽ばえがある

幼いいのち

すべての児童は 心身ともに
健やかに生まれ 育てられ
その生活を保障される
一児童遊草第一条

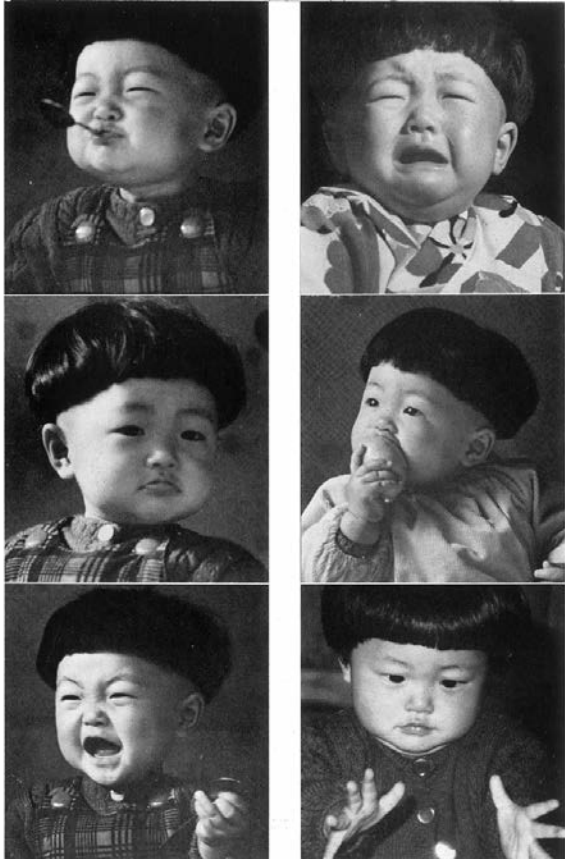


第1回生 おかあさんに「おねえちゃん」と呼ばれて なんだか家だった

(旧版「こどもの社会」より)

昭和 35 年には 2 万人をこえていた県の年間出生数は、平成 25 年には 9,605 人となった。この間、母子保健体制の充実等により年間乳児死亡数は 739 人から 18 人と大幅に減少した。





(旧版「こどもの社会」より)



②母と子と

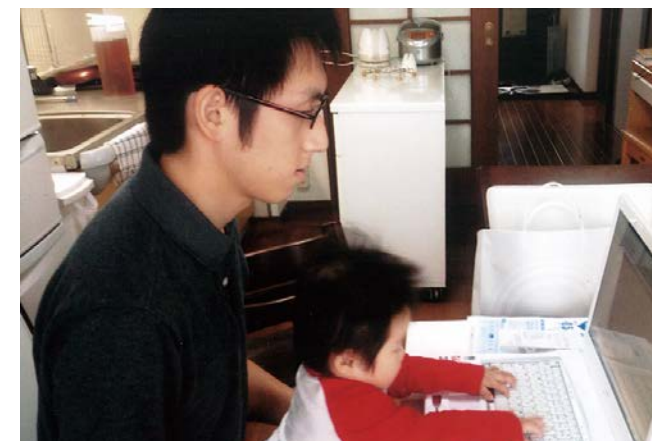


一人の女性が一生の間に生む子どもの数に相当する合計特殊出生率（大分県）は、昭和 35 年には 2.05 であったが、全国的に未婚化、晩婚化が進むなかで、平成 16 年、17 年には 1.40 まで低下した。そこで、県では平成 21 年度から「子育て満足度日本一」を目指し、様々な子育て支援に取り組む中、平成 25 年には 1.56 まで回復している。

③父と子と



昭和 35 年ごろは「男性は仕事、女性は家庭」が一般的であったが、
現在では、男性が育児する姿を、ごく普通に見かけるようになった。
大分県は、6 歳未満の子どもを持つ男性の家事・育児時間が 86 分(平
成 23 年度)と全国で 7 番目に長く、育児に積極的な男性が増えた。



④兄と・姉と



県内の子育て中の保護者が理想とする子どもの数の平均は、2.81人である。(平成23年度子ども・子育て県民意識調査)

(3) 成長



新青山橋※に思い思いに描かれた子どもたちの「夢」。

※新青山橋 (佐伯市青山) …県道佐伯蒲江線青山バイパスの一部

(平成 27 年度完成予定)



(旧版「こどもの社会」より)

- ① 地域での子育て
- ② 幼児期の教育・保育
- ③ 小学校・中学校
- ④ 子どもの遊び
- ⑤ 暮らしの中で

①地域での子育て

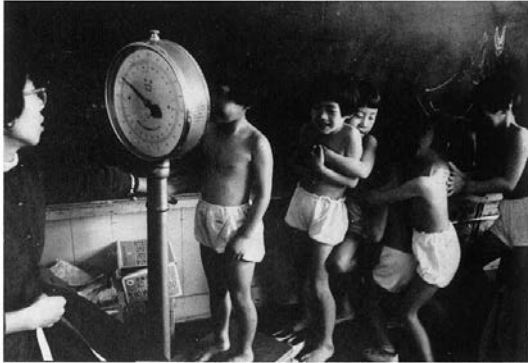


県内には 66 か所の地域子育て支援拠点と、40 か所の児童館が整備されており、それぞれの地域で特色のある子育て支援がおこなわれ、多くの親子に利用されている。(平成 26 年度)

②幼児期の教育・保育



体操
1 2 3 ……わあ 空がきれい



身体検査
こどもの体位は戦前以上に向上した



半年もたつと
すっかり団体生活になれてくる

(旧版「こどもの社会」より)



子ども・子育て支援法
に基づく新制度が平成
27年度からスタート。



③小学校・中学校



(旧版「こどもの社会」より)



お見知り遠足



希望を胸いっぱい多くの新1年生が今年も入学。この日は待ちに待った「お見知り遠足」。上級生に手をつながれて。新しい仲間と仲良くお弁当を広げておいしい昼食。



授 業



先生が3,4年生をおしえているあいだ 私たちはテストを覗える

(旧版「こどもの社会」より)



ICT技術の進歩により、タブレット端末等を使った授業が県内でもはじまっている。



給食



(旧版「こどもの社会」より)



「学校給食1日まるごと大分県」など、食育の生きた教材となる地産地消の取組が行われている。

運動会



胸がどきどき 何も見えない

(旧版「こどもの社会」より)

平成 26 年度全国体力テスト(小 5、中 2) では、小中学校とも全国トップレベルの伸び率を達成した。特に、小学校男子は全国 9 位、女子は全国 13 位と躍進している。



放課後



放課後児童クラブは、共働き家庭が増える中、安心して児童を預けられる場所として、県内275か所（平成26年度）で運営されている。また、全ての子どもを対象とした放課後チャレンジ教室の取組も、地域との連携の中で広がっている。



④子どもの遊び



古びた三輪車もたいせつな自分のもの しっかりととはなさない



つよいものにあこがれる

(旧版「こどもの社会」より)



⑤暮らしの中で



水は手を踏みながらに汲たい



おかあさん はよつ帰らんかなあ

(旧版「こどもの社会」より)



核家族化が進む中で、3世代や4世代が集まり同じ食卓を囲む光景は珍しくなった。





かつて運んだら くびや背中がほじかいかった

(旧版「こどもの社会」より)



かつては子どもが農作業の手伝いをするのは当たり前だったが、現在では学校や家庭での行事として多く取り入れられている。



(4) 活躍



(旧版「こどもの社会」より)



©Hiroyuki Hirai

平成 27 年 4 月、大分県立美術館 (OPAM) が、iichiko 総合文化センター (大分市) の向かいに開館。

- ①地域の中で
- ②スポーツ
- ③文化

①地域の中で

お祭り



(旧版「こどもの社会」より)



子どもたちは、地域のお祭りや伝統芸能を将来に伝える大切な担い手だ。



②スポーツ



大分トリニータ



大分ヒートデビルズ



大分三好ヴァイセアドラー



バサジィ大分

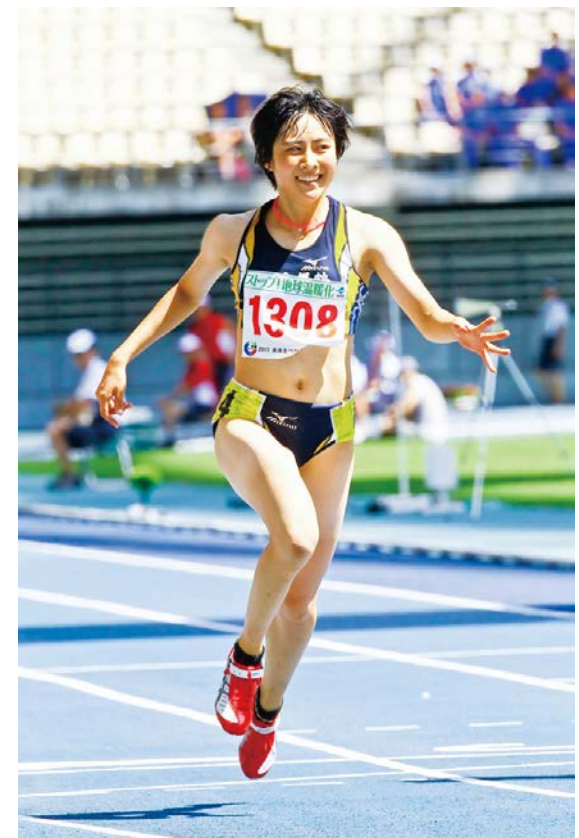
県内には4つのプロスポーツチームがあり、子どもたちとの交流が行われている。



県内の中学校には運動部が1,460あり、入部率は68.6%である。(平成25年度)



全国や世界で活躍する大分の高校生アスリートたち。



③文化



「iichikoグランシアタ ジュニアオーケストラ」(公益財団法人分県芸術文化スポーツ振興財団主催)をはじめとして、学校等でコンサートを開催する「ピノキオコンサート」や「子どもたちのための楽器体験」(公益財団法人アルゲリッチ芸術振興財団主催)が実施されている。

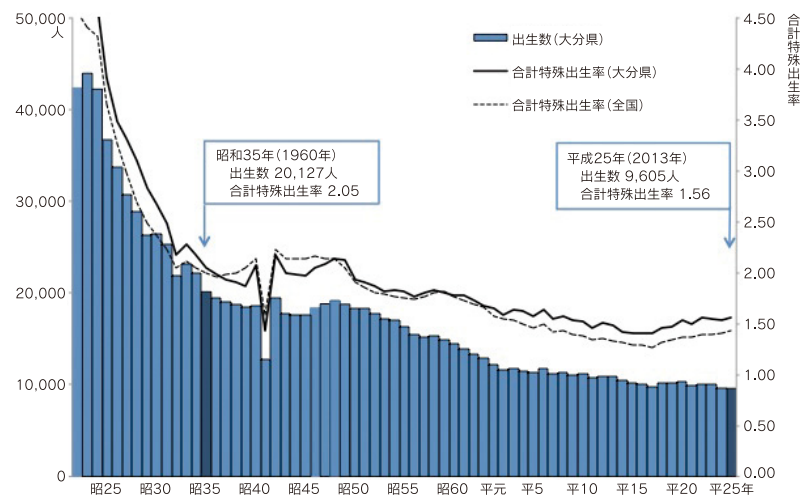


平成 26 年 11 月 23 日～ 30 日の 8 日
間にかけて県立美術館竣工記念イベント
「OPAM 誕生祭」を開催。歩行者天国
になった路上でスケッチ&ドローイング。



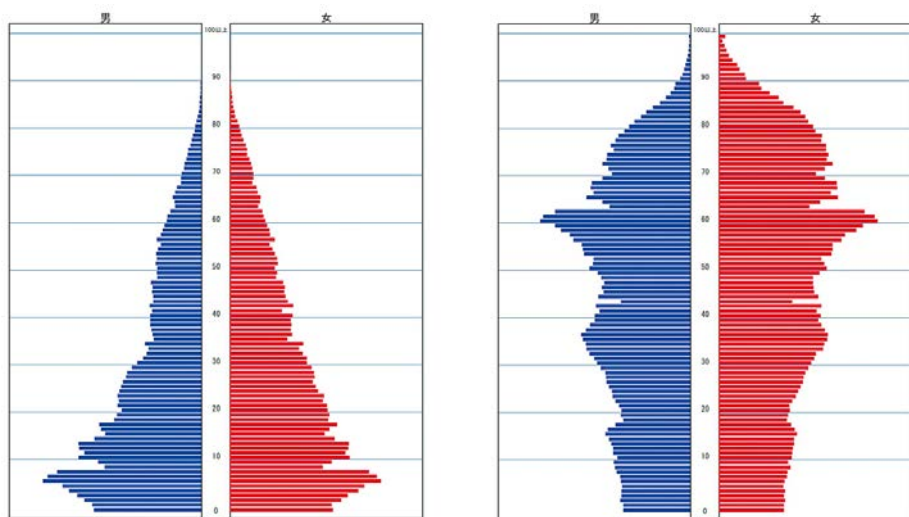
資料

1 出生数と合計特殊出生率の推移



出典：人口動態統計

2 人口構造の変化（大分県）



昭和35年

平成22年

出典：国勢調査

3 諸データ（大分県）

項目(カッコ内は単位)	昭和35年	平成25年	備考	
人口(人)	1,239,655	1,178,775		
世帯数	267,711	490,888		
出生数(人)	20,127	9,605		
保育所	保育所数(か所)	124	279	
	利用人員(人)	7,865	21,652	
幼稚園	幼稚園数(か所)	126	216	
	園児数(人)	10,607	12,433	
小学校	学校数(校)	388	293	(本校のみ)
	児童数(人)	186,075	61,534	
中学校	学校数(校)	203	140	(本校のみ)
	生徒数(人)	85,427	32,293	
	卒業後の進路(%)			
	高等学校進学者	71.5	98.8	※昭和35年データがないため、昭和40年データを利用。
就職者	20.5	0.4		
高等学校	学校数(校)	53	65	(本校のみ)
	生徒数(人)	49,014	33,926	
	卒業後の進路(%)			
	大学・短大進学者	22.3	45.5	※昭和35年データがないため、昭和40年データを利用。「大学・短大進学者」は「進学者数」の割合。
就職者	66.7	25.8		
婚姻数(組)	9,782	5,724		
平均初婚年齢(歳)	夫	26.8	30.2	
	妻	24.0	28.9	
乳児死亡数(人)	739	18	出典：大分県公衆衛生年鑑	

平均身長(cm)	6歳	男	110.9	116.2	出典：学校保健統計
		女	109.8	115.2	
	12歳	男	140.9	152.2	
		女	142.8	151.6	
平均体重(kg)	6歳	男	18.8	21.3	
		女	18.2	20.9	
	12歳	男	34.0	43.9	
		女	36.3	44.0	

出典：大分県統計年鑑（一部除く）

本誌の作成にあたり、写真の提供等にご協力いただきました学校、団体、関係機関ほかの皆様に対しまして、厚く御礼申し上げます。

【表紙のことば】

掲載している絵は、高山辰雄賞ジュニア美術展第32回(2014年)優賞11作品です。

※高山辰雄賞ジュニア美術展

大分市出身の日本画家、故高山辰雄画伯が文化勲章を受章したのを記念して1983年に始まった、県内の児童・生徒による絵画コンクールです。

幼稚園、保育所、小・中学校、高等学校、特別支援学校の児童・生徒からの応募作品は例年約10万点に及んでいます。

平成27年3月発行

大分県のすがた こどもの社会 平成版
～子育て満足度日本一を目指して～

発行 大分県

こどもの社会作成プロジェクトチーム

企画振興部 政策企画課

広報広聴課

福祉保健部 福祉保健企画課

こども子育て支援課

生活環境部 私学振興・青少年課

教育庁 教育改革・企画課

